

【①表現内容-F: その他】

■作品を送ってみては

ーメール・アートのすすめー



一般的に表現活動は不特定多数の人々を対象として行われるもの
と言ってよいでしょう。展覧会も「どこかの誰かが見に来てくれる」
ことを前提として行われているのです。

それに対し、「あなたへのわたしからのメッセージ」として作られ、
送られる作品があります。「メール・アート」がそれで、作品が「送
った人」と「受け取った人」の間に橋をかけてくれるのです。

ここに例示した作品は、私が病気療養中に現代美術家の藤野忠利氏
から頂戴したのですが、身近にある素材を用いて作られた作品群は
私を本当に慰め、元気づけてくれました。

メール・アートの多くは、送るために作られます。そのための作り
下ろし作品と言ってよいものがほとんどです。しかし、これまでに作
ったものを送ってもよいのです。子どもたちはたくさんの作品を図工
や美術の時間で作っており、それらには作り手の思いがつまっています。
そのような作品を送るのですから、受け取った人たちはきっと喜
んでくれることでしょう。

送る相手は、たまにしか会わないおじいさんやおばあさん、引っ越
していった友だち、場合によってはクラスメートでもよいでしょう。
身近なところから、造形作品が人と人を結びつけることを経験してほ
しいのです。

作品を郵送するには、郵便の規則を守らねばなりません。それゆえ、
大きさ・素材・形状などをチェックし、他の郵便物に迷惑がかからない
ように配慮することが大切です。アーティストの作品はむきだしで
送られてくることが多いのですが、子どもたちの場合はビニールパッ
クなどに入れて送るほうがよいように思えます。

しばたかずとよ
(柴田和豊：東京学芸大学教授)

